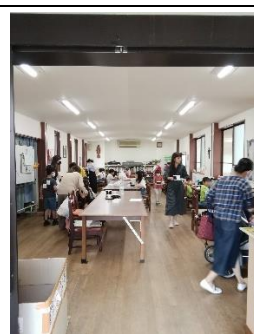


こどもワクワク食堂

見学日	2020年9月26日(土)
所在地	神戸市兵庫区塚本通 4-4
面談	榎本さんご夫妻、ボランティア 他
こどもワクワク食堂 概要	<p>フェイスブックを活用し情報発信することにより、人材、食材、寄付などの提供者が次第に増え、食堂の運営をサポートしてくれている。</p> <p>食堂は食事提供だけではなく、遊び、音楽、手品、社会人と触れ合う機会を設けるなど様々な企画で子供たちを楽しませている。また、子供以外に高齢者の皆様も楽しんでいる。</p> <p>榎本さんご夫婦の「子供たちの為に」そして「(子供に限らず)どなたでもお越しく下さい」という思いと優しいお人柄が随所に感じられた。</p> <p>(1)発足 2016年</p> <p>(2)活動内容 カトリック兵庫教会内集会所で毎月第3土曜日の12:00～15:00に開催し、通常はビュッフェスタイルで子供は無料、大人は500円で食事を提供している。9月26日のメニューはカレーで子供は無料、大人は100円の負担だった。</p> <p>食事の後には、音楽会、手品、ジャグリング等様々なイベントを実施することもある。</p> <p>また、第2土曜日には学習支援、夏休みなどの長期休暇中には昼食づくりと宿題をする時間と空間を用意している。</p> <p>(3)「子ども食堂」を始めた経緯 健康管理士の資格を持つ榎本さんは従来から「子ども食堂」に関心を持っていた。</p> <p>スーパーに夜、値引きになった弁当を買いに来る小さな兄弟がいることを知り、「子ども食堂」を始めることを決意した。</p> <p>(4)運営のポイント 中央卸売市場や社会福祉協議会等様々な機関と連携して運営している。</p> <p>助成金や補助金は申請せず、NPO法人ではなく任意団体として活動している。</p> <p>フェイスブックで情報を発信することで、食材は中央卸売市場から無償提供を受けたり多くのボランティアの参加を得ている。</p>



すわやまの会

見学日程	2020年11月21日(土)
所在地	神戸市中央区諏訪山町1-1
面談	毛利さん 他
すわやまの会による「やきいも会」風景	すわやまの会は、諏訪山公園子供の園の設備や利用状況、環境などの現状リサーチを行い、ボランティアの協力も得て清掃活動やイベントを実施している。 諏訪神社の境内で実施された子供の園の清掃活動及び「やきいも会」を見学した。



東灘こどもカフェ

見学日	2021年1月12日(火)
所在地	神戸市東灘区甲南町 3-7-14 城野ビル 1F
面談	中村 保佑 代表 他
東灘こどもカフェ概要	<p>調理師免許を取得している中村さんは「子供たちへの食育」を基本とし活動を始めた。今では世代や性別を問わず、お互いが思いやりの気持ちを大切にしながら手作りの楽しみを分かち合う居場所として成長している。</p> <p>(1)発足 2011年4月</p> <p>(2)活動内容 拠点施設で昼食を用意したり、体験講座を開いたり、幅広い世代に「居場所」を提供し、地域住民の交流を促す活動を実施している。 会員から集める会費(大人 年間 1,000 円、子供 年間 500 円)や社会福祉協議会などからの助成金で運営している。 施設が手狭となり、2012年7月、現事務所を借り、「木洩童(こもれど)」として再出発した。「木洩童」は英語で「仲間」を意味する comrade からとり、日だまりの中で人々が童子のように微笑む仲間づくりの場にしたいとの思いが込められている。 台所を備えており昼食(有料)を食べ、フリーマーケットやお菓子教室なども開く。 各教室や催しでは、会員や地元大学生たちが特技を生かして講師を務める。会員が講師になったり、生徒になったりしている点は興味深い。</p> <p>(3)運営にあたっての工夫 「東灘こどもカフェ」の運営に当たって様々な工夫がなされている。 会員制度で運営資金の一部を安定的に確保するとともに、催しでは子供も含めて会員が気軽に講師になったり生徒になったりすることで組織の活性化や持続可能性を高めている。 また、お楽しみスタンプカードを作成し、子供たちが習字、絵描きなど、何をやったかを記入することによりお菓子や表彰状をもらえるようにした。その結果、子供が子供や保護者を連れてくるようになり、350人(延べ 3,000人)の子供が利用するようになった。</p> <p>(4)おかず寺小屋 参加費(子供 500 円、大人 1,000 円)でサンドイッチを作る会場を見学した。</p>

